

TIRMETER

取扱説明書

この取扱説明書を大切に保管して下さい。
ご使用前に必ず熟読して下さい。

目次	ページ
当製品をご使用になる前に	1
1. 本体各部の名称と仕様	2
2. 使用方法と使用する上での注意事項	3
3. 使用・保管上の注意事項	5
4. 充電の仕方	6
5. 適合チャックル	6

チルコーポレーション

本社：大阪市北区梅田1丁目2番2-1000号 守山工場：滋賀県守山市吉身町126

TEL 06-344-6231 FAX 06-456-2920

TEL 0775-83-1212 FAX 0775-83-1216


《当製品をご使用になる前に》

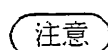
この度は、チルメーター（TIR METER）をご購入いただきまして、誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。



ご購入いただきましたチルメーターは、超小型・軽量・高精度のテンションメーターであり、ワイヤロープの張力測定や、クレーンの安全管理など種々の用途にご使用いただけます。

当製品の安全対策には、当社でも十分気を付けておりますが、お客様がより安全に製品をフル活用していただくため、又、末永くご愛用していただくためにも、このチルメーター取扱説明書を熟読され、最大能力・注意事項を守り、正しくご使用して下さい。

注意事項の前に

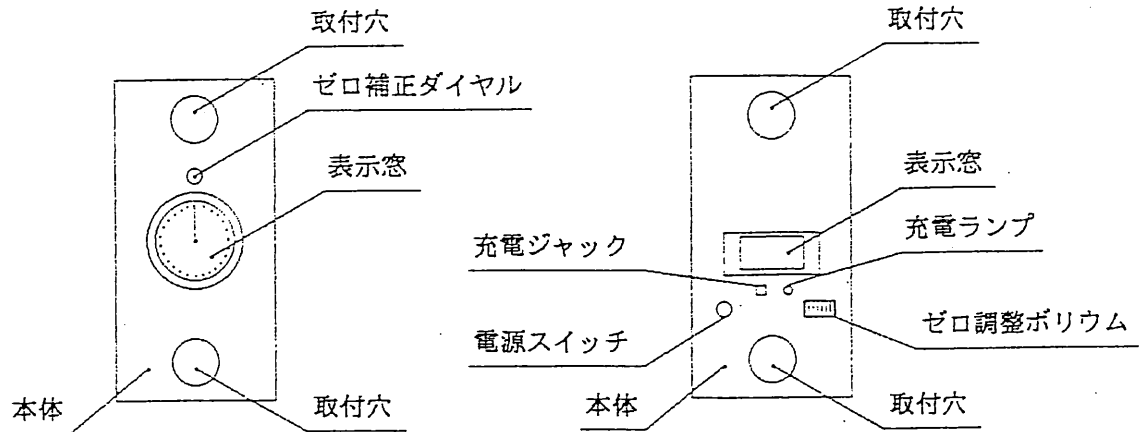
（使用を誤った場合、死亡又は重傷を受ける可能性がある）

（使用を誤った場合、人体への損傷、物的損害を受ける可能性がある）

を表示区分しております。但し、表示であっても使用方法によっては  同様の結果が発生する恐れがありますので、いずれにしても必ずお守り下さい。

1. 本体各部の名称と仕様

各部の名称



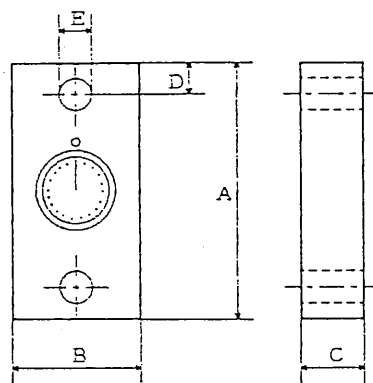
タイプA (アナログ表示)

タイプD (デジタル表示)

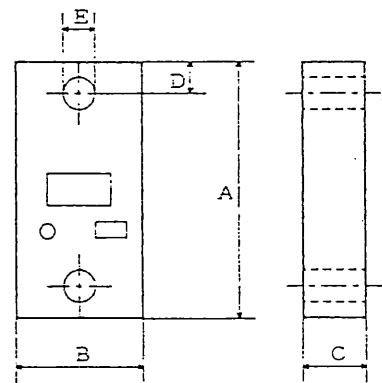
仕様

型 式	2TA	2TD	5TA	5TD
表 示 方 式	アナログ指針	デジタル液晶	アナログ指針	デジタル液晶
容 量 (ton)	2	2	5	5
自 重 (kg)	2.5	2.7	4.1	4.3
精 度	フルスケールの±3%			
最小表示荷重 (kg)	20	10	50	10
安 全 率	5	5	3	3
使用温度範囲	0~40℃			
『0』点調整	ワンタッチ調整ダイヤル			
電 源	不 要	充 電 式	不 要	充 電 式
寸 法 (mm)	A	250		320
	B	131		142
	C	40		43.5
	D	30		40
	E	φ28		φ37.5

外 形



(アナログ方式)



(デジタル方式)

2. 使用方法と使用する上での注意事項

注意 チルメーターが届きましたら、保証書及び製品の機種がご注文されました内容と一致しているか、又製品に輸送中の事故等で変形や損傷が発生していないか必ず確認して下さい。

【タイプA（アナログ表示）】

※ゼロ補正ダイヤルを回して、指針がゼロ位置になる様に補正して下さい。

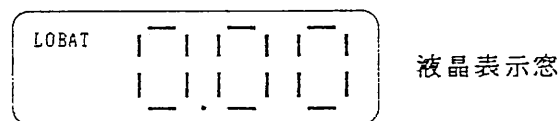
危険 使用前には必ずゼロ補正を行って下さい。測定値が正確に表示されず危険です。

※シャックルを本体に取付け、荷重測定物に確実に接続して下さい。

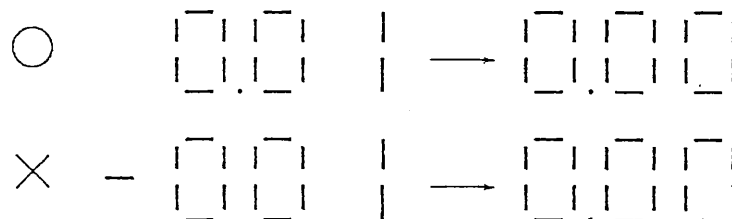
危険 シャックルは適合シャックルを使用して下さい。それ以外のシャックルを使用されますと、精度が低下する事があります。
(適合シャックルは P 6 を参照下さい。)

【タイプD（デジタル表示）】

※バッテリーが充電されているか、電源スイッチ“ON”にしてチェックして下さい。
液晶表示が薄くしか見えない時・液晶表示部に〔LOBAT〕と表示された時は再充電を行って下さい。
(充電方法は P 6 を参照下さい。)



※電源スイッチ“ON”にした後、ゼロ調整ボリュームを回してゼロ調整を行って下さい。
その際プラスの表示数値からゼロセットを行って下さい。



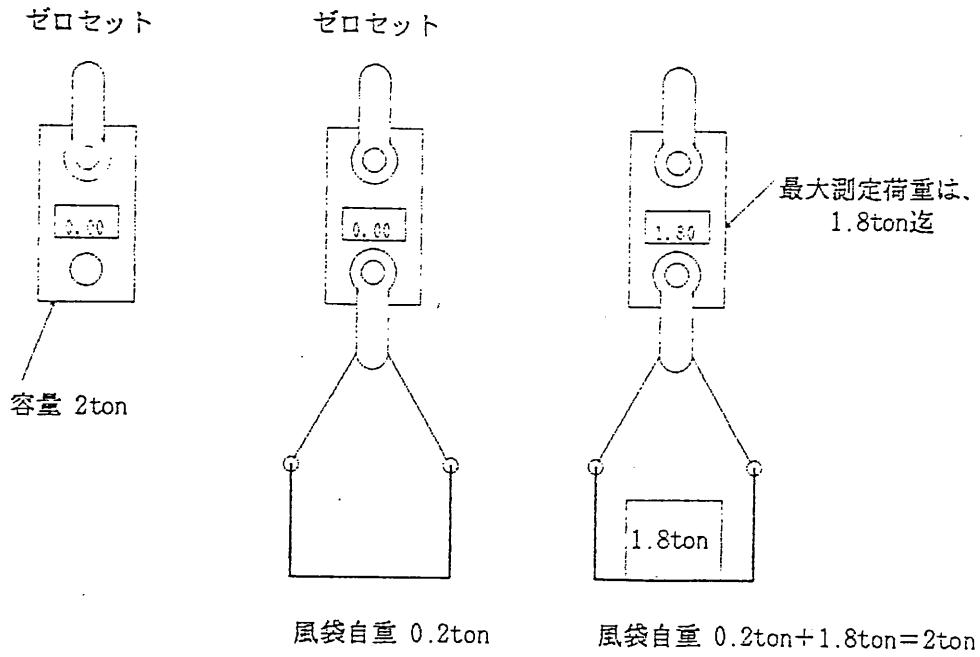
※シャックルを本体に取付け、荷重測定物に確実に接続して下さい。

危険 シャックルは適合シャックルを使用して下さい。それ以外のシャックルを使用されますと、精度が低下する事があります。
(適合シャックルは P 6 を参照下さい。)

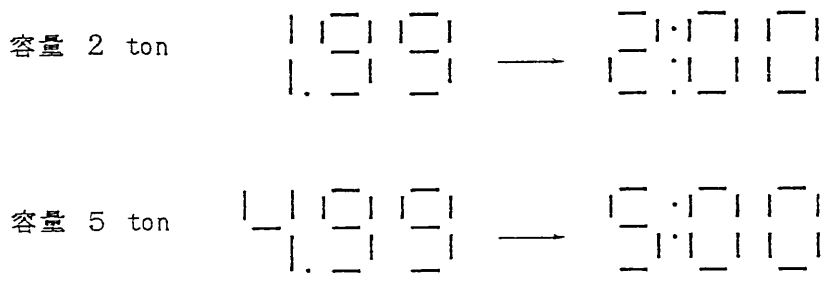


※風袋自重測定（籠やバスケットの重量を差し引いた内容物だけの重量を測定する事）を行う時は、オーバーロードにならない様に十分注意して下さい。


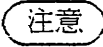
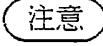
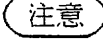

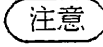

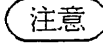



（下図参照）



※使用中に液晶表示部に、オーバーロードマーク（コロン：）が表示された時は、ただちに荷重を取り除いて下さい。



3. 使用・保管上の注意事項

-  **危険** 当製品には、最大能力より大きな荷重をかけて使用しないで下さい。又、最大能力には荷重の振動等による偏荷重も考慮して下さい。
-  **注意** 当製品取扱い中、投げる・落とす・衝撃を加える等の行為はしないで下さい。
-  **注意** 本体は防水性を有していませんので雨中及び水中での使用はしないで下さい
-  **注意** 温度変化の多い所・腐食性ガスのある所・激しい振動のある所では使用しないで下さい。
-  **危険** 設置前に本体に亀裂等の損傷がないか必ず確認し、もしあれば使用しないで下さい。
-  **注意** 本体にねじり力が作用する様な設置はしないで下さい。精度低下の原因になります。
-  **危険** 当製品は張力計ですので、“はかり”として使用しないで下さい。
-  **注意** 使用後は、ケースに入れ常温かつ湿度の低い所に保管し、衝撃を与えない様にして下さい。
-  **危険** 使用前・保管時には、必ず本体に損傷・亀裂等がないか確認し、異常があれば使用を直ちに中止し、当社サービスステーションにご相談下さい。又、表示部の不具合についても同様です。
-  **危険** 最低でも1年に1回以上（長期連続使用又は長期連続無使用の様な特別の場合は、使用頻度に合わせて）は、当社サービスステーションでオーバーホールを受けていただきますようお願いいたします。
-  **危険** 決して分解点検しないで下さい。

4. 充電の仕方

※電源スイッチを“OFF”にしてください。

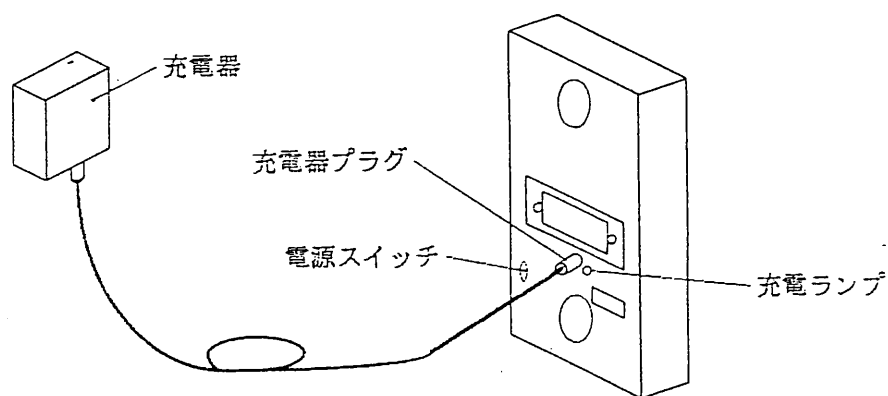
※充電器のプラグを本体のジャックに差し込んで下さい。

※充電器を家庭用コンセント（単相AC100V）に差し込んで下さい。

※（LOBAT）表示後から、満充電に要する時間は約12時間です。満充電が完了後は連続約10時間の使用ができます。

注意 12時間以上の充電は本体故障の原因にもなりますので注意して下さい。

注意 バッテリーの劣化により連続使用時間が短くなる事があります。



(緊急用電源として、充電器プラグを差し込んだ状態で本体電源スイッチを「ON」にすれば使用出来ます。)

5. 適合シャックル

型式	シャックル	呼び	使用荷重 [ton]	単重 [kg]	
2TA, 2TD	JIS ストレートシャックル	SD-22	2	1.74	
		SB-30	5.4	4.60	
5TA, 5TD	JIS ストレートシャックル	SC-30	5.4	4.26	
		JIS パウシャックル	BB-30	5.4	6.44
			BC-30	5.4	6.10

